

# がまこおり 議会 だより

## 5月市議会臨時会・6月市議会定例会

|                       |        |
|-----------------------|--------|
| 5月臨時会／議決された主な議案……………  | 2～ 3   |
| 6月定例会／一般質問…ここが論点…………… | 4～ 9   |
| 6月定例会／議決された主な議案……………  | 10～ 12 |
| 委員会通信……………            | 13     |
| 議会日誌、9月定例会予定等……………    | 14     |

NO. 91  
2016.8



# 正副議長の選挙・各委員会の構成などを決定

5月臨時会  
議案

5月市議会臨時会は、5月12日、13日の2日間の会期で開きました。  
今議会では、喚田孝博議長、松本昌成副議長を選出し、各委員会の構成などを決めました。また、議案4件を審議し、いずれも原案のとおり可決・同意しました。  
その主な内容をお知らせします。

## 5月臨時会の日程

|     |   |
|-----|---|
| 12日 | 本会議〔会期の決定、議案説明等〕<br>総務委員会<br>文教委員会  |
| 13日 | 本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決、正副議長の選挙、監査委員の選任、委員会委員の選任等〕<br>総務委員会<br>経済委員会<br>文教委員会<br>議会運営委員会<br>国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会 |

**条例の改正**  
●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
(第38号議案)  
小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所での保育士の配置について、特例的運用を可能にするため、当分の間、朝夕等の児童が少数となる時間帯において、児童の人数に応じて必要となる保育士数が1人となるときは、当該保育士に加えて、保育士と同等の知識及び経験を有すると市長が認める者を置くことでの対応を可能とするなどの改正を行います。  
●**文教委員会での主な質疑**  
問 「当分の間」とは。

答 国が示した「女性の就業率の上昇等により、保育の受け皿拡大が急速に進んでいる間」と考えています。  
●**本会議での主な論点**  
賛成 保育の担い手確保が喫緊の課題となる中で、保育の担い手の裾野拡大、保育士の勤務状況改善につながる対応として妥当である。  
反対 保育士資格のない職員での対応は保育の質を下げたものであり、特例でなく通常になるおそれがある。  
●**その他の議案**  
●**監査委員の選任**  
(第40号議案)  
議会選出の竹内滋泰委員の辞任に伴い、後任委員として大向正義議員を選任することに同意しました。

## 全会一致で可決・同意した議案

(○内の数字は議案番号)

- ③7 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ③9 平成28年度一般会計補正予算(第1号)
- ④0 監査委員の選任

## 5月臨時会で議決された平成28年度補正予算

・一般会計

| 補正号数 | 補正の主な内容                    | 補正額     | 補正後の予算額     |
|------|----------------------------|---------|-------------|
| 第1号  | 塩津児童クラブ拡充事業費 423万円         | 4,344万円 | 275億2,444万円 |
|      | 給食センター過熱蒸気調理機更新工事費 3,921万円 |         |             |

## 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

| 議案番号 | 議案名                              | 自由民主党 蒲郡市議団 |     |      |      | 蒲郡自由クラブ |      |      |      | 公明党 蒲郡市議団 |      | 無党派  |      |      |      |      |      |       |      |      |      |
|------|----------------------------------|-------------|-----|------|------|---------|------|------|------|-----------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|
|      |                                  | 大場康議        | 伴捷文 | 喚田孝博 | 大向正義 | 鎌田篤司    | 竹内滋泰 | 青山義明 | 尾崎広道 | 鈴木基夫      | 広中昇平 | 稲吉郭哲 | 牧野泰広 | 鈴木貴晶 | 伊藤勝美 | 松本昌成 | 大竹利信 | 日恵野佳代 | 来本健作 | 新実祥悟 | 柴田安彦 |
| 38   | 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 | ○           | ○   | ○    | ○    | ○       | ○    | ○    | 欠    | ○         | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●     | ○    | -    | ○    |

※新実祥悟議員は議長職により採決には参加していません。



# 議長に喚田孝博議員 副議長に松本昌成議員を選出

5月13日の議案審議の終了後、新実祥悟議長の辞職に伴い、議長の選挙が行われ、3名の議員の所信表明の後、投票の結果、喚田孝博議員が第63代議長に当選しました。

松本昌成議員が第65代副議長に当選しました。

続いて、広中昇平副議長  
の辞職に伴い、副議長の選挙を行い、2名の議員の所信表明の後、投票の結果、

次に、常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会の各委員の選任を行い、それぞれ互選により、正副委員長を決定しました。

続いて、蒲郡市幸田町衛生組合議会議員の選挙、東三河広域連合議会議員の選挙を行いました。

その他、蒲郡市幸田町衛生組合議会議員の選挙、東三河広域連合議会議員の選挙を行いました。

各委員会及び各議会議員の構成は、左下の表のとおりです。

## 各委員会の内容は

### ●常任委員会

市の事務の部門ごとに置かれ、それぞれの部門に属する事務の調査を行うとともに、議案、請願などの審査をします。

各委員会の主な担当事項は次のとおりです。

### ○総務委員会

行政の総合的な企画・調

整、財政、財産、消防、監査委員、選挙管理委員会に  
関することなど。他の委員会に属さないことは総務委員会  
で担当します。

### ○経済委員会

観光、産業振興、道路、河川、公園、都市開発、上下水道、区画整理、ポータル事業など。

### ○文教委員会

市民生活、健康、福祉、市民病院、教育など。

### ●議会運営委員会

円滑な議会運営のために

置かれ、会派間の意見調整と会議を能率的に進行させる役割を担う委員会です。他の委員会が所管の議案等を審査するのに対し、議会運営全般にわたる事項を審査するのが特徴です。

### ●国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

市街地の交通渋滞緩和と観光及び産業経済活動の活性化に期待される国道23号蒲郡バイパスの諸問題の調査研究と早期建設を図るために設置されています。

## 就任 あいさつ



副議長 松本昌成



議長 喚田孝博

日ごろから市政全般にわたり、市民の皆さまには温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、私どもは5月市議会臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。その重責を担うとともに、職務の遂行に全力を傾ける所存でございます。

人口減少社会を迎え、国では人口の東京一極集中の是正、出生率の向上を掲げ、地方創生の取り組みを推進しております。本市においても、少子高齢化が進行し人口減少が避けられない中、地方創生の推進による自立したまちづくりを進めていくため、「蒲郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したところです。

このような中、限られた財源をよりいっそう重点的かつ効率的に配分し、地域の活力を創生すべく、市民の皆さまの思いを市政に反映させることが必要となつてきます。

そのために市議会の果たす役割は非常に重要です。議決機関として皆さまの意思を迅速に察知し、市政に反映させていくこと、また、皆さまの代表として市政運営の監視機関であることも十分認識しなければならぬと考えています。

私たちの蒲郡をいっそう住みよいまちにするために頑張りますので、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

| 区分                 |               | 氏名 (◎:委員長 ○:副委員長) |               |              |       |
|--------------------|---------------|-------------------|---------------|--------------|-------|
| 常任委員会              | 総務委員会         | ◎大場康議<br>稲吉郭哲     | ○新実祥悟<br>柴田安彦 | 広中昇平<br>大竹利信 | 喚田孝博  |
|                    | 経済委員会         | ◎竹内滋泰<br>鎌田篤司     | ○伴捷文<br>牧野泰広  | 鈴木基夫         | 松本昌成  |
|                    | 文教委員会         | ◎来本健作<br>尾崎広道     | ○青山義明<br>大向正義 | 伊藤勝美<br>鈴木貴晶 | 日恵野佳代 |
| 議会運営委員会            | ◎青山義明<br>広中昇平 | ○伴捷文<br>稲吉郭哲      | 大場康議<br>牧野泰広  | 伊藤勝美         |       |
| 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会 | ◎大場康議<br>広中昇平 | ○青山義明<br>竹内滋泰     | 伊藤勝美<br>牧野泰広  | 来本健作<br>柴田安彦 |       |
| 蒲郡市幸田町衛生組合議会       | 鈴木基夫<br>稲吉郭哲  | 喚田孝博<br>新実祥悟      | 大向正義<br>大竹利信  | 竹内滋泰         |       |
| 東三河広域連合議会          | 竹内滋泰          | 鈴木貴晶              | 大竹利信          |              |       |



# 一般質問…ここが論点

6月市議会定例会中、10日、13日、14日の3日間で、市政全般について16人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、蒲郡市議会ホームページ (<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/gikai/>) の会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも9月上旬の予定です。

また、ユーストリームライブ中継と録画放映も実施していますので蒲郡市議会のホームページからご覧ください。

## ■ 一般質問

| 日程       | 議員名   | 主な質問の項目  |
|----------|---|--|
| 6月10日(金) | 柴田安彦  | <a href="#">市民病院</a> 市営住宅  |
|          | 大場康議  | <a href="#">国民健康保険</a> 国道23号蒲郡バイパス <a href="#">国道247号バイパス</a>      |
|          | 鈴木貴晶  | <a href="#">ドライブレコーダー</a> <a href="#">三河大島</a>                     |
|          | 伊藤勝美  | <a href="#">被災者支援システム</a> 災害時の障害者支援 <a href="#">災害応急活動支援システム</a>   |
|          | 牧野泰広  | <a href="#">中部土地区画整理事業</a> <a href="#">商店街の街路灯</a> ロケ誘致            |
| 6月13日(月) | 竹内滋泰  | <a href="#">防災・減災対策</a> <a href="#">公共施設等の老朽化対策</a>                |
|          | 稲吉郭哲  | 安全教育 <a href="#">防災対策</a>  |
|          | 鈴木基夫  | <a href="#">蒲郡港（三河港蒲郡地区）</a> ラグーナ地区                                |
|          | 大竹利信  | <a href="#">自殺防止対策</a> 食品ロス削減 <a href="#">新生児聴覚検査</a>              |
|          | 鎌田篤司  | <a href="#">幹線道路</a> <a href="#">竹島ふ頭</a> <a href="#">海辺の文学記念館</a> |
| 日恵野佳代    | <a href="#">公園の整備、遊具の確保</a> 市民病院 <a href="#">災害対策</a> |  |
| 6月14日(火) | 新実祥悟  | <a href="#">海のまち蒲郡</a> <a href="#">道路建設状況</a>                      |
|          | 広中昇平  | <a href="#">消防団の運営</a> <a href="#">ボートレース蒲郡</a>                    |
|          | 大向正義  | <a href="#">協働のまちづくり</a> <a href="#">地域包括ケアシステム</a> 医師会との和解        |
|          | 伴捷文   | <a href="#">まち・ひと・しごと創生</a>  |
|          | 青山義明  | <a href="#">上ノ郷城跡</a> 市民体育センター <a href="#">徘徊高齢者対策</a>             |

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。

柴田安彦（無党派）

診療報酬改定による  
今後の市民病院のあり方は



患者さんに対して、最善の医療を行う市民病院

**問** 4月の診療報酬改定により、一般病棟の施設基準7対1が維持できないことが予想される。今後の市民病院の運営方針を伺う。

**答** 病棟の組み合わせの変更をしないままで重症患者割合をクリアすることは難しい。患者さんにとって最善の医療を提供できる体制、病院の経営維持を前提に再編を検討した。その結果、地域包括ケア病棟を1棟増やして2棟とし、10月1日からの稼働に向けて

準備を進めている。前年度実績に比べ約3千万円の減収となるが、地域包括ケア病棟の適切な運営で損失額は少なくできると考える。

**問** 機動的な市民病院とするために、市長が経営責任を負っている地方公営企業法の一部適用から、病院長が管理者となる全部適用に変更してはどうか。

**答** 全部適用も選択肢のひとつとして検討するが、病院の機動力を発揮するため、適正な保険請求を行う専門知識のある職員を採用し、次期診療報酬改定等に的確に対応できる専門的職員の育成に努めたい。

大場康議（自民党市議団）

国民健康保険制度の見直しについて

**問** 国民健康保険税のうち、資産割を廃止している市町村が県内で増えていると聞かすが、市はどう考えているのか。

**答** 資産割の取り扱いは、市の重要な検討課題であると考えている。



**問** 国保税を滞納している短期証世帯の子どもに、通常の被保険者証を発行することはできないか。

**答** 9月の被保険者証更新時から、短期証世帯の子どもに、通常の被保険者証を発行したいと考えている。

鹿島バイパスの安全対策について

**問** 国道247号鹿島バイパスの交通安全対策の今後の見通しと課題を伺う。

**答** 交通安全対策として、信号機の設置の問題があるが、それ以前にバイパスに接続する道路を路線認定することが条件となる。現在、道路計画について、大型店舗から出された複数

案の一本化に向けて調整しており、今年度中の解決に向けて鋭意努力している。

鈴木貴晶（自由クラブ）

青パトに  
ドライブレコーダー設置を

**問** 市内の青色回転灯パトロール車に動く防犯カメラとしてドライブレコーダーを設置することの効果と設置を促進する補助制度の導入について伺う。

**答** 設置の効果は、交通事故の原因の特定や過失の有無などの証拠としての活用や映像記録の活用で事故処理の効率化を図ることができる。補助制度の導入は、各地域で防犯活動を行っている団体に意見をもらいながら検討したい。

三河大島の渡船に  
サウザンド・サニー号を

**問** 潮干狩り、海水浴の時期以外に三河大島までの渡船にワンピースのサウザンド・サニー号を活用しはどうか。

**答** 現在、サウザンド・サニー号は、ラグーナ沖への遊覧船として活用されている。市から三河大島までの渡船として利用の投げかけはできるが、コンテンツとしての魅力や採算性はラグーナテンボスが判断することになる。



三河湾に浮かぶ三河大島

伊藤勝美（公明党市議団）

罹災証明書の発行体制は

**問** 罹災証明書の速やかな発行体制について、市



の現状を伺う。

**答** 罹災証明書は、義援金の受給や損害保険の請求など、被災者の生活再建に必要となるもので、市では税務課を中心に調査、発行を行う体制をとっている。現在、熊本地震の被災地支援の一環として、家屋調査担当職員が現地で被害認定業務に当たっており、この経験を市の罹災証明書発行業務に生かしていきたいと考えている。

**災害応急活動支援システムの活用について**

**問** スマートフォンを活用した災害応急活動支援



システム「多助」の導入について、市の意向を伺う。

**答** このシステムの活用実績が少なく、個人のスマートフォンを使うので通信料がかかるが、非常時における複数の相互通信手段の確保は、大災害等を考えた場合、とても重要で、メリットを優先に消防団とも協議しながら、導入も視野に入れた検討をしたい。

**牧野泰広 (自由クラブ)**

**水竹公園予定地にある残土の処分方法は**

**問** 山積みされていく残土で見通しが悪くなり、近くの交差点で車同士など出合い頭の衝突事故も発生している。残土処分の方法について伺う。

**答** 公共残土を受け入れていく田原市まで運搬すると事業費が増大するため、市内で受け入れ可能なところと調整を進めている。残土処分については、今後も厳しい状況が続くと予想されるので、計画の変更などご理解いただきたい。

**街路灯の維持管理の方策は**

**問** 商店街が解散しても街路灯の維持管理を条件に電灯料の補助を継続することのだが、現実には、管理しきれないといった声も聞く。街路灯の維持管理に対する今後の方策は。

**答** 維持することができずに、やむを得ず街路灯を撤去する場合には、商店街、地域、市の三者で話し合いを行い、計画的に道路照明灯や防犯灯に切り替える作業を進める必要があると考える。

**竹内滋泰 (自民党市議員)**

**備蓄品の分散先に地域集会所を**

**問** 災害物資の分散備蓄先として、また、避難所における良好な生活環境を確保するためにも、一定の基準を満たす地域集会所を活用してはどうか。

**答** 公共施設で避難所の全てをまかないきれない。



現在、地域集会所を準避難所として活用できないか検討しており、その場合には、要綱等を定めて、一定の基準を満たす地域集会所を準避難所として指定していきたいと考えている。

**公共施設マネジメントの進め方は**

**問** 平成28年3月に策定された基本方針に基づき、公共施設マネジメントを推進していくことになるが、その進め方は。

**答** 実施計画策定に向けて将来にわたって長く公共施設を利用する若者の思いを計画に反映させるための若者まちづくりミーティングを開催し、市民の意見を伺う場として実施計画策定会議を設置して、参加者

と委員の一部を公募していく予定である。

**稲吉郭哲 (自由クラブ)**

**命を守る防災対策について**

**問** 地震から命を守るため、市民が正しい行動をとれるように、どのような対策を講じているのか。

**答** 市民に各種情報の伝達を迅速かつ確実に行えるように、防災行政無線、安心ひろメールなどの情報伝達手段を整備してきた。また、日ごろから災害時の行動を理解してもらえらるよう、防災訓練等の実施、出前講座等を活用した地震



市民総ぐるみ防災訓練

に関する知識の普及を通じて周知を図っている。

**問** 特に子どもやお年寄りの防災意識向上のためアンケートを実施してはどうか。

**答** 防災意識の把握や今後の防災対策の参考とするため、実施する必要があると認識している。今後、実施方法を検討していく。

**問** 防災に関する今後の対応について伺う。

**答** 災害が発生したときにまずは自分が無事であることが重要である。今後もし市民に地震に関する知識の普及などで防災意識の向上を図るとともに、住宅耐震対策等の推進を図り、自助への支援を行っていく。

鈴木基夫（自由クラブ）

蒲郡港の整備と振興について

**問** 蒲郡港の11号岸壁の背後地の埋め立てが未整備で、自動車の輸出は千台程度に制限されているとのことだが、制限を解除するには、背後地の埋め立てを



背後地が未整備の11号岸壁

1日でも早く行わなければならないと考える。埋め立て計画について伺う。

**答** 愛知県に確認したところ、平成28年度からソールラス制限区域内にフェンスを設置し、車の積み出し等の利便性を確保した上で、防塵等の対策を施して、29年度から本格的に埋め立て作業を開始する予定と聞いている。

**問** あわせて物流港として付加価値を上げるような環境整備も行っているのか。

照明設備と給水設備の整備計画について伺う。

**答** 照明設備は28年度末には完成する予定で、給水設備は29年度以降本格的に整備を考えていると聞いている。市として11号岸壁の背後地の早期埋め立ての完成、給水設備の整備、3パースの整備について、改めて県に要望を行っていきたい。

大竹利信（公明党市議員）

自殺防止対策について

**問** 誰にも相談できずに悩んでいる方の支援のため、多様な分野の相談窓口を一覧にまとめた相談窓口カードを作成してはどうか。

**答** 平成27年度に自殺対策相談窓口ネットワーク会議において、こころ、障がい福祉、経済問題、介護、子育ての各相談窓口等をまとめた「つながりフレット」を作成した。今後は、今回作成のリーフレットの評価・検討を踏まえ、より良い支援策を探っていく。



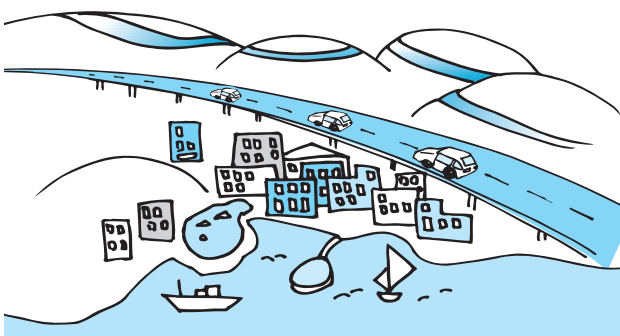
つながりフレット

相談窓口カードについても、今後の参考とする。

新生児聴覚検査について

**問** 新生児の聴力検査は医療保険の適用外だが、その必要性を考慮し、費用の一部を助成してはどうか。

**答** 難聴児を早期に発見し、支援するために重要な検査であり、ほとんどの人が受診しているとともに、国も市町村における受診勧奨や保健指導等を推奨している。今後、他市の実施状況等を把握しながら、研究をしていく。



鎌田篤司（自民党市議員）

今後の幹線道路の整備について

**問** 国道473号及び名浜道路の整備促進に関する取り組み状況は。

**答** 国道473号は、5月に県や岡崎市と意見交換し、重要性を再認識した。蒲郡市側の事業化に向けての資料作りを行う。名浜道路は新しい東西軸の道路であり、国道473号と共に要望活動を行っていく。



## 竹島ふ頭の整備について

**問** 蒲郡駅から竹島までの動線上にある竹島ふ頭の利便性を考慮し、「海の駅」として活用の考えは。

**答** 港の賑わいを図る「みなとオアシス」に位置づけている。その関連等も含めて、調査研究していく。

## 海辺の文学記念館のあり方について

**問** 来年、開館20周年を迎える海辺の文学記念館のあり方について伺う。

**答** 観光と教育の施設として「時手紙」を含めて、変わる事のない、落ち着いた趣を大切に維持していく。

## 日恵野佳代

(無党派・日本共産党)

## 遊具の確保について

**問** 子どものすこやかな成長に必要なと考えられる遊具が、竹島小学校はゼ口、中央小学校は1つしか



ない。400万円あれば、滑り台、ブランコ、ジャングリズムを設置できる。

**答** 設置を廃品回収に頼るのはおかしい。夏休み中に工事すれば9月から使える。設置の考え方について伺う。小学校への遊具設置については教育委員会と協議し、計画を立てながら対応していきたい。

## 災害対策の充実について

**問** 避難所の備蓄品のうちペットボトル飲料水は鉄道高架下倉庫の1カ所に

しかない。単価が百円としたら避難者数約1万4千人に1本ずつ備蓄しても140万円である。市は5年計画で備蓄を予定しているが、直ちに備蓄を充実させる必要がある。市の考え方は。

**答** 各避難所にもペットボトル飲料水の備蓄をする。直ちに必要量を揃えるのは困難であり、5年計画で備蓄していく予定である。

## 新実祥悟 (無党派)

## 海のまち蒲郡の事業について

**問** メタンハイドレートの試験採掘に三河港蒲郡地区が深く関わっているが、関連企業の誘致活動を行っているか伺う。

**答** 浜町への企業誘致活動は行っているが、現時点ではメタンハイドレートの関連企業に特化した誘致は行っていない。来年予定されている試験採掘には大きな期待を持っており、今後、商業化の道筋が見えてくれば、関連企業に対し誘致活動を行っていききたい。

## 道路建設状況について

**問** 海陽町地内で行われている臨港道路の付け替え工事は順調に進んでいるが、海陽町と国道23号線を結ぶ橋脚設置工事の進捗について伺う。

**答** 平成27年度に県が詳細設計委託を実施した。海上区間約120mのうち水路として必要な区間を除き埋め立て、4車線の道路を築造する計画である。28年度に公有水面埋立免許の申請、29年度に工事着手の予定だと聞いている。

## 広中昇平 (自由クラブ)

## 消防団員の確保を

**問** 消防団への加入促進策は。

**答** 今年度の早い時期に条例改正をして、加入要件を20歳以上から18歳以上に緩和したい。具体的には、12月から2月にかけての団員募集の時期にポスター掲



消防出初式

示や市の広報、ホームページでの周知、蒲郡駅、成人式会場でのリーフレット配布を行うほか、定員に達していない分団では直接地元総代へ協力をお願いするなどを予定している。

また、市職員には人事課とも協力し、周知していきたい。

## ボートレース蒲郡の売り上げ向上策は

**問** 訪日外国人旅行者にボートレース蒲郡を楽しんでいただけませんか。

**答** 訪日外国人旅行者に来場していただくため、観光会社や宿泊施設関係者と特別ラウンジを利用した





新設された協働まちづくり課

イベントなどニーズを研究する必要があると考えている。今後、インバウンドの動向に注視し、関係機関と歩調を合わせ対応したい。

**大向正義** (自民党市議員)

**協働まちづくり課の新設について**

**問** 総代連合会事務局を行政課から協働まちづくり課に移管した狙いは。

**答** まちづくりには、そのまちの主役である地域住民を対象とする組織も不可欠な要素である。連合会長に限らず、地域コミュニティにも協働というスタイルを通じ、地域一体の取り

組みをしていただきたい。また、地域を豊かにする社会づくりを浸透させ、可能などころから参加していただきたいと考えている。

**地域包括ケアシステム構築の取り組み体制は**

**問** 市長の熱意について伺う。

**答** 担い手としての元気な高齢者の育成、関係機関との連携と役割分担の明確化に取り組む。また、自助を基本に、共助や公助に頼るのではなく、地域全体で支え合う互助の体制づくりを推進していく。今年度から地域包括ケア推進室を設け、スピード感を持ち、ネットワーク良く、現場主義で地域包括ケアシステム構築を進めていく。

**伴 捷文** (自民党市議員)

**まち・ひと・しごと創生について**

**問** 人口ビジョンでは、平成32年の人口は7万9179人と推計しており、



蒲郡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンと総合戦略

第四次蒲郡市総合計画での目標人口8万人と8211人の差があるのはなぜか。

**答** 本ビジョンは平成22年の国勢調査のデータを基準に将来人口を推計して平成72年の目標人口を定めたものである。なお、平成72年に至るまでの各年の目標人口は別に総合計画で定めるものとしているため、差が生じている。

**問** 定住促進を進めて、本市をベッドタウン化することへの考えは。

**答** 大企業の集積する名古屋までJRで約40分

通勤できる立地環境は本市の最大の売りと考え、定住人口増を目指すPR活動を行っている。

それと同時に、企業立地推進課を設けて、企業誘致を進め、さらに観光産業等の振興に取り組むことで新たな雇用の場を創出し、恵まれた自然環境を生かした住環境を整えることで、働きやすく住みやすい、バランスのとれたまちを目指したい。

**青山義明** (自民党市議員)

**上ノ郷城跡について**

**問** 上ノ郷城跡本丸部分の地権者への対応は。

**答** 本丸部分は複数の地権者によって所有され、地権者のご厚意により、立ち入りができる。地権者、総代、公民館長等を中心とした上ノ郷城跡保存研究会の皆さんと将来を見据えた城跡の整備と活用方法を研究し、借地、公有地化など地権者への対応を検討していきたい。



上ノ郷城跡

**徘徊する高齢者への対策は**

**問** 神奈川県では県内の介護事業者を対象にGPSシューズ（GPS機能を内蔵した靴）の購入補助を行っている。本市では個人を対象に購入補助や貸与を検討してはどうか。

**答** 外出時に必ず履く靴にGPS機能が内蔵されていれば、徘徊者の早期発見につながると思われる。しかし、サイズの問題や他人が履いた靴を履くことへの抵抗感もあり貸与はなじまず、購入補助は高額になると聞くので、情報収集しながら検討していきたい。

# 海陽多目的広場の使用料などを決定

6月定例会  
議案

6月市議会定例会は、6月10日から22日までの13日間の会期で開き、議案13件、請願1件を審議しました。野外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正など、主な内容をお知らせします。

## 条例の改正

●市議会議員、市長の選挙での自動車の使用、ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正

(第42号議案)

公職選挙法施行令の改正に伴い、個々の候補者の選挙費用を公費で負担する選挙公営について、その限度額を引き上げるとともに、市長の選挙におけるビラの作成の公営を行うため、規定を追加します。

●総務委員会での主な質疑

問 選挙公営に係る単価が引き上げられる理由は、

答 公職選挙法施行令に規定する公営単価は、3年に

1度の参議院議員通常選挙が執行される年に見直しており、今回は平成26年4月の消費税率3%引き上げを踏まえて引き上げます。

●本会議での主な論点

賛成公営単価の引き上げ、ビラの作成の公営は妥当であり、公職選挙法の趣旨に照らし財力のない人の自由な立候補を妨げることなく、若い人でも選挙に立候補しやすい環境を整えることは必要である。

反対政治とカネという問題で市民、国民の目は厳しくなっている。市は国の基準に合わせない特段の理由はないと言うが、これまでも社会情勢を鑑み改正を見送ってきた。改正しなければ

ならない理由がない。

●市税条例等の一部改正

(第43号議案)

地方税法等の改正に伴い、3つの税の改正をしました。個人市民税は、特定健診や予防接種等の健康の保持増進及び疾病の予防の取り組みを行っている個人を対象として、スイッチOTC医薬品の購入費用を所得控除制度で適用できるようにします。

固定資産税は、再生可能エネルギー発電設備に係る固定資産税課税標準の特例措置を拡充します。

軽自動車税は、平成28年度中に初回車両番号指定を受けた一定の環境性能を持つ軽自動車について、その燃費性能に応じた税率の軽減をします。

●総務委員会での主な質疑

問 新たに医療費控除が認められるスイッチOTC医薬品とは、具体的にどのようなものか。

答 処方箋がなければ購入できなかった医薬品のうち、一般医薬品として薬局等で購入できるようになったもの

のです。具体的な医薬品名は、厚生労働省と財務大臣が協議して公表します。

問 納税義務者が健康の保持増進や疾病の予防に取り組んでいることが控除適用の条件とすることが、どのように確認するのか。

答 健康診断の結果や予防接種の領収書等が考えられますが、国税庁から具体的に明示はされていません。

●本会議での主な論点

賛成どの税目においても、市民にとって税の軽減となるものであり、税の負担を求めものではない。また、市民の健康と環境に配慮された税制改正であり、将来の市民生活まで考慮されたものであると考える。





す。 1つ目に、国民健康保険の基礎課税額に係る課税限度額を年額52万円から54万円に、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を年額17万円から19万円に引き上げます。なお、介護

**反対**セルフメデイケーション（自主服薬）の推進は社会保障費を節減するためのことであり、国民の健康や懐具合を考えていない。健康を自己責任にわい小化し、社会保障を切り崩すものであり、賛成できない。  
**●国民健康保険税の課税限度額引き上げと軽減対象世帯の拡大**  
**（第45号議案）**  
 地方税法施行令の改正に伴い、2つの改正を行います。

■ 6月定例会で議決された平成28年度補正予算

| 会計名          | 補正号数 | 補正の主な内容  | 補正額       | 補正後の予算額     |
|--------------|------|--|-----------|-------------|
| 一般会計         | 第2号  | 基金積立金追加 6,480万円  | 1億6,928万円 | 276億9,372万円 |
|              |      | 国民健康保険事業特別会計繰出金追加 428万8千円  |           |             |
|              |      | 予防接種事業費追加 767万7千円  |           |             |
|              |      | 地方創生農産品等販路開拓ブランド力向上事業費 300万円                                       |           |             |
|              |      | 地方創生国内外観光プロモーション事業費 500万円  |           |             |
|              |      | 道路新設改良事業費追加 8,162万5千円  |           |             |
|              |      | 学校諸活動支援事業費追加 39万円  |           |             |
|              |      | 文化財保護事業費追加 250万円   |           |             |
| 国民健康保険事業特別会計 | 第1号  | 財源補正<br>国民健康保険税 547万2千円<br>一般会計繰入金 428万8千円<br>国民健康保険事業基金繰入金 △976万円 | 0         | 95億4,050万円  |
| 公共用地対策事業特別会計 | 第1号  | 一般会計繰出金 6,480万円  | 6,480万円   | 1億8,670万円   |
| 下水道事業特別会計    | 第1号  | 公共下水道整備事業費追加 1,743万円   | 3,443万円   | 24億8,093万円  |
|              |      | 流域下水道整備事業費追加 1,700万円   |           |             |

納付金課税額に係る課税限度額は年額16万円のまま据え置きとなります。  
 2つ目に、被保険者均等割額及び世帯別平等割額の軽減措置についての対象世帯の拡大をします。  
**●文教委員会での主な質疑**  
**問** 今回の改正により、課税限度額を超える世帯数は、どのようなになるのか。  
**答** 医療分は、237世帯から222世帯になり15世帯の減、支援分は、252世帯から199世帯になり

53世帯の減になると見込んでいます。  
**問** 財政的には、どのようなになるのか。  
**答** 課税限度額の引き上げ、軽減判定基準の見直しに加え、収納率を考慮すると約547万円の増になります。これに、国・県の補助金の増である約429万円を足した976万円が今回の改正による歳入の増加額です。  
**●本会議での主な論点**  
**賛成** 課税限度額の改正は、国の改正に準じて行うもの

である。  
 また、国民健康保険税の軽減及び減免の対象世帯を拡大するというもので、低所得者世帯への軽減を拡大するものである。  
**反対** 所得の多いほうが負担率が低いという逆転現象が続いている。社会保険料と比べ、国民健康保険税の所得に対する負担割合は飛び抜けて高く、市は国の補助金を使い、負担率を10%以下にするよう努力すべきである。

■ 請 願

①安全・安心の医療実現のため、地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求め、「地域医療構想」策定における慎重な審議を求める請願書

提出者 清水 芳卓 氏  
 審査結果 不採択  
 (○の数字は、請願番号)

■ 陳 情

○憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上、平和施策の充実に求める陳情書

提出者 春の自治体キャラバン実行委員会  
 代表 樽松 佐一 氏  
 審査結果 不採択



●海陽多目的広場の  
使用料等を決定

(第47号議案)

海陽多目的広場を設置し、使用料等を決定しました。午前区分を午前9時から午後1時まで、午後区分を午後1時から午後5時までとし、使用料は両区分とも一面につき4千円となります。アマチュアスポーツの利用で入場料を徴収する場合は2倍の額、営利または商業宣伝を目的とする場合は10倍の額となります。なお、施設は9月10日から利用開始予定です。

●文教委員会での主な質疑

問 旧海陽多目的広場は無料で利用できたが、新しい海陽多目的広場が有料なのはなぜか。

答 旧海陽多目的広場では、必要最低限の芝生の管理を行い、無料で利用してもらっていましたが、新しい海陽多目的広場については、グラウンドを良質な状態に管理し、今まで以上に快適に利用していただくため、費用の一部を利用者に負担していただきたいと思います。



整備の進む海陽多目的広場

います。

問 スポーツ合宿での利用についての考えは。

答 本市は宿泊施設も多く、合宿地として適していると考えます。合宿であれば、連泊も期待でき、市内産業の活性化につながりますので、ぜひ海陽多目的広場を活用していただきたいと思います。

その他の議案

●市道の路線認定及び廃止  
(第49号議案)

金平大門8号線を路線認定し、東観嶽2号線を廃止します。

■全会一致で可決した議案 (○内の数字は議案番号)

- ④1 職員の退職管理に関する条例の一部改正
- ④4 東三河都市計画ラゲーナ蒲郡地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例及び特別用途地区建築条例の一部改正
- ④6 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ④7 野外運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ④8 人権擁護委員の候補者の推薦
- ④9 市道の路線認定及び廃止
- ⑤0 平成28年度一般会計補正予算 (第2号)
- ⑤2 平成28年度公共用地対策事業特別会計補正予算 (第1号)

■賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

| 議案番号 | 議案名  | 自由民主党<br>蒲郡市議団 |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      | 蒲郡自由クラブ |      |      |      | 公明党<br>蒲郡市議団 |       |      | 無党派  |      |  |
|------|--|----------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|--------------|-------|------|------|------|--|
|      |  | 大場康議           | 伴捷文 | 喚田孝博 | 大向正義 | 鎌田篤司 | 竹内滋泰 | 青山義明 | 尾崎広道 | 鈴木基夫 | 広中昇平 | 稲吉郭哲 | 牧野泰広    | 鈴木貴晶 | 伊藤勝美 | 松本昌成 | 大竹利信         | 日恵野佳代 | 来本健作 | 新実祥悟 | 柴田安彦 |  |
| 42   | 市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正                 | ○              | ○   | -    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○       | ○    | ○    | ○    | ○            | ○     | ○    | ○    | ○    |  |
| 43   | 市税条例等の一部改正   | ○              | ○   | -    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○       | ○    | ○    | ○    | ○            | ○     | ○    | ○    | ○    |  |
| 45   | 国民健康保険税条例の一部改正   | ○              | ○   | -    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○       | ○    | ○    | ○    | ○            | ○     | ○    | ○    | ○    |  |
| 51   | 平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)                                    | ○              | ○   | -    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○       | ○    | ○    | ○    | ○            | ○     | ○    | ○    | ○    |  |
| 53   | 平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)                                       | ○              | ○   | -    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○       | ○    | ○    | ○    | ○            | ○     | ○    | ○    | ○    |  |
| 請願1  | 安全・安心の医療実現のため、地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求め、「地域医療構想」策定における慎重な審議を求める請願書 | ●              | ●   | -    | ●    | ●    | ●    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○       | ○    | ○    | ○    | ○            | ○     | ○    | ○    | ○    |  |

※喚田孝博議員は議長職により採決には参加していません。

# 委員会通信

## 3常任委員会 管内視察を行う

総務、経済、文教の各常任委員会は、いずれも5月中・下旬に委員会を開き、関係部署の所管事務の概要説明を受けるとともに、管内視察を行いました。

総務委員会は5月17日に開き、消防本部での説明及び庁舎内の見学後、海陽多

目的広場、相楽ひめはる会館に設置した防犯カメラを視察しました。

経済委員会は5月23日に開き、国道23号蒲郡バイパス、柏原町の企業用地開発予定地、斎場、下水道浄化センターを視察し、ボート

レース蒲郡での説明及び大型映像装置を視察しました。

文教委員会は5月24日に開き、市民病院での説明及び院内の見学後、学校給食

## 他市町村議会からの視察一覧

### 《1月》

- 13日 埼玉県熊谷市／うどんサミット
- 29日 長野県小諸市  
／蒲郡いきいき市民健康づくり事業

### 《2月》

- 2日 東京都青梅市／ボートレース事業
- 3日 大阪府貝塚市／空き家等適正管理条例
- 9日 千葉県君津市  
／蒲郡いきいき市民健康づくり事業
- 17日 宮島競艇施行組合議会  
／ボートレース事業

### 《5月》

- 25日・26日 越前三国競艇企業団議会  
／ボートレース事業



企業用地開発予定地を視察する経済委員



防犯カメラの説明を受ける総務委員

センター、三谷東小学校、中央子育て支援センターを視察しました。



三谷東小学校図書室を視察する文教委員

## 小中学校施設改修工事の実施内容見直しについて

6月17日に開かれた文教委員会において、今年度施工予定であった塩津中学校体育館大規模改修事業と小学校トイレ改修事業について、国庫補助金が不採択となったため、実施内容を見直す報告がありました。

塩津中学校体育館大規模改修事業は、約4千300万円の国庫補助金を財源として事業費1億5千360万円を計上。壁等の断熱工事、水銀灯からLED照明



落下防止対策を実施する塩津中学校体育館

への切り替え、バスケットゴールや放送設備など非構造部材の落下防止対策等を予定していましたが、補助金が見込めなくなったことで、一般財源130万円を使って落下防止対策のみを実施します。

また、事業費1千870万円を計上した小学校トイレ改修事業については、国庫補助金550万円が財源として見込めなくなりましたが、その分だけ一般財源を増額し、当初の予定どおり形原小学校、竹島小学校の2校で洋式化、内装改修、トイレブリス取り替えを行います。



●編集 議会だより編集委員会 ●発行 蒲郡市議会 ●〒443-8601 蒲郡市旭町17-1 ●TEL 0533(66)1169 ●FAX(66)1186

### 東三河広域連合議会

5月31日に東三河広域連合議会5月臨時会が豊橋市議会議事堂で行われました。議長に豊川市の野本逸郎議員、副議長に田原市の彦坂久伸議員を選出し、監査委員に蒲郡市の大竹利信議員を選任しました。

### 全国市議会議長会 会長から表彰

柴田安彦議員が30年以上、日恵野佳代議員が25年以上、市議会議員として市政の発展に尽力された功績に対し、栄えある表彰を受けられました。

### 9月定例会予定

9月市議会定例会は、8月31日(水)に開会する予定です。

詳しい日程は、8月25日(木)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務

局へお問い合わせください。なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載しますので、そちらにアクセスしていただき、新着情報欄をご確認ください。本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所新館7階の議会事務局で先着順に傍聴証をお渡しします。

### 議会だよりは点字版、 テープ版、CD版も 発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ

版、CD版はボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。また、議会だよりは、過去に発行されたものも含め市議会のホームページやスマートフォンアプリ「i広報誌」でもご覧いただけます。

### 平成28年熊本地震義援金

市議会議員親睦会は、4月に発生した平成28年熊本地震で被害を受けられた方に日本赤十字社を通じて、災害義援金10万円を送りました。



本年4月は、市議会の会派構成に大きな動きがありました。新たに自由民主党蒲郡市議団が7名で結成され、蒲郡自由クラブ6名、公明党蒲郡市議団3名、無会派4名の会派構成になりました。

5月臨時会において正副議長、監査委員、東三河広域連合議会議員等を選出し、その他常任委員会、特別委員会の委員も決定し、新体制がスタートしました。

6月定例会では、16名が一般質問に立ち、1人持ち時間90分で当局側と政策議論を交わしました。一般質問は時間延長が認められず、持ち時間が終了次第、質問は打ち切られますので、質問者と答弁者は極力明解・明確な発言が求められます。

議会だより編集委員会は、議会だよりの発行を通じ、一般質問のほかに議案・請願の審査、各委員会の活動、東三河広域連合議会の状況等を分かりやすく市民の皆様にお伝えできるよう努めてまいります。

〔議会だより編集委員会〕

◎伊藤 勝美 ○大場 康議 伴 捷文  
広中 昇平 稲吉 郭哲 青山 義明  
牧野 泰広

(◎：委員長 ○：副委員長)



私たちが編集委員です。

## 議会日誌

4月5日から6月30日

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>4月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>20日 議会運営委員会理事会</li> <li>25日 議会運営委員会理事会</li> <li>28日 議会運営委員会理事会</li> </ul> <p><b>5月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2日 5月臨時会招集告示<br/>議会運営委員会理事会</li> <li>9日 議会運営委員会<br/>議会運営委員会理事会<br/>議員親睦会理事会</li> <li>12日～13日 5月臨時会</li> <li>12日 議会運営委員会</li> <li>13日 議員親睦会総会</li> <li>16日 正副委員長会議</li> <li>17日 総務委員会管内視察</li> <li>23日 経済委員会管内視察</li> <li>24日 文教委員会管内視察</li> <li>26日 議会運営委員会理事会</li> <li>30日 6月定例会招集告示<br/>議案説明会</li> </ul> | <p><b>6月</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2日 議会運営委員会理事会<br/>議会運営委員会</li> <li>10日～22日 6月定例会</li> <li>22日 議会だより編集委員会<br/>議会運営委員会理事会</li> <li>30日 議会だより編集委員会</li> </ul> |
|--|--|

